

JANUARY 留学近況レポート

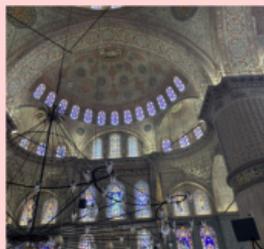
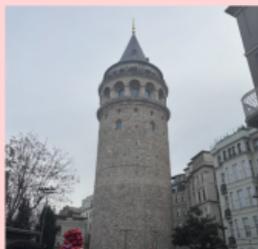
約半年の留学期間が終了し、日本に帰国してからこのレポートを書いています。今回は今月あったことと、全体のまとめを書いていきたいと思います。

期末テスト

1月5日から14日まで期末試験が行われました。私は試験科目が3つだったため負担は少なかったです。また、中間試験で試験の形式が大体わかったのでそれをもとに対策することができ手応えは良かったです。中間テストも同様に、模範解答や採点された自分の回答を見ることはできませんでした。自分の回答が合っていたのかなどを確認することができないのが少し残念です。1月の終わりには成績がメールで送られてきました。9段階で評価されて、全体のスコアが60点以上でPASSという形です。

イスタンブール

日本に帰る前にせっくなのでイスタンブールで観光しました。イスタンブールは観光客で非常に賑わっており、どこも混み合っていました。モスクや歴史的な建造物が多くあり、魅力的な街でした。また、イズミルよりもヨーロッパに近い位置にあるため、建物などはヨーロッパを感じさせるものも多くありました。



友達と過ごす最後の日々

テストが終わってからトルコ出国まで2週間弱しかありませんでした。この2週間は、旅行に行ったり友達と会ったりと1日1日が大切な時間でした。カフェでおしゃべりをしたり、いつもの海辺を歩いたり、思い出の写真をたくさん撮ったり、お揃いのプレスレットを買ったり、本当に楽しかったです。出会ってたった半年しか経っていなくても大好きな人たちとお別れをするのは悲しかったです。しかし、中には日本旅行を計画中の友達もいて、またすぐ会えたら嬉しいなと思いました。日本から遠く離れた場所に友達がいるというのは不思議な感じがしますが、連絡をとり続けたいなと思っています。



留学全体の感想

大学に入学した時は自分がトルコへ留学するとは思っていませんでした。言葉も分からない状態で行くことには不安がありました。それ以上にワクワクが大きかったです。トルコに住んでみることで分かってくる文化や人々の暮らしは全て自分にとっては新しく、面白い国だと思います。大学については英語での授業について行くことができるかと不安でした。しかし、実際に受けてみると、英語は授業内で使われている言葉に過ぎず、先生たちは授業の内容をいろいろな形で伝えようとしてくれていて、新しい分野の学びが楽しかったです。また、英語で学ぶことで違った見え方がしたり、そのトピックについて国を超えて友達と話ことができ、英語で学ぶということに大きな意義を持たせることができたと思います。様々な考え方を聞き、刺激を受け、自分を形作るものがまた変化したと感じています。トルコで出会ったたくさんの人に支えられて半年間の留学を無事やり遂げることができました。面白そう、という興味から選んだトルコという国を好きになり、自分も大きく成長できた半年間だと思います。

